

会計の仕組み

公営企業会計の特徴①

- 水道事業及び公共下水道事業は地方公営企業であり、地方公営企業法に示された地方公営企業会計制度にもとづく

→**独立採算制（受益者負担の原則）**

つまり、料金収入で運営（税金で賄われない）

- 官公庁会計方式とは異なる

→官公庁会計：現金主義会計、単式簿記

→公営企業会計：**発生主義会計、複式簿記**

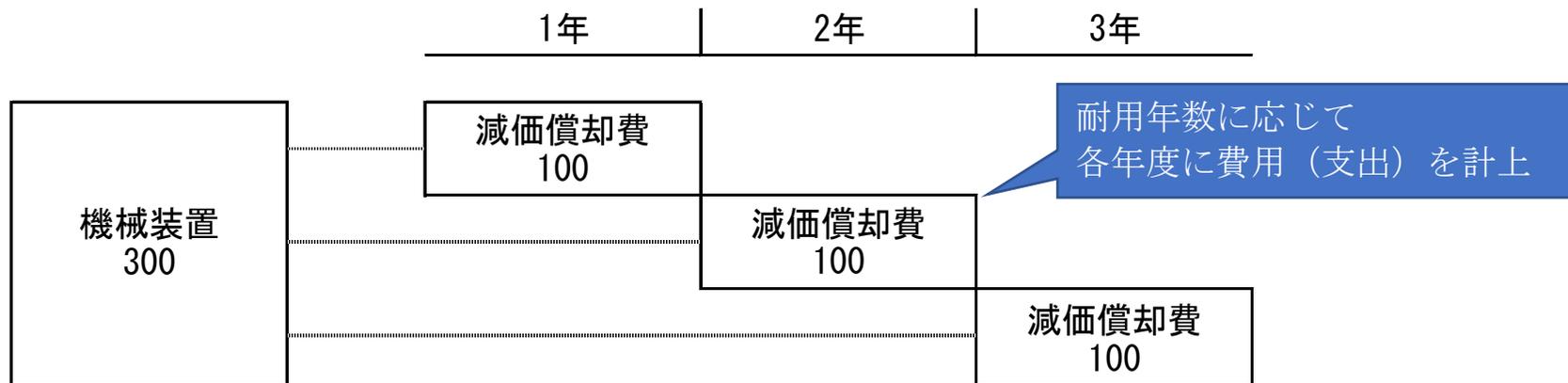
（貸借対照表、損益計算書）

公営企業会計の特徴②

●減価償却

土地を除く有形固定資産は、時の経過に伴いその価値が減少します。

そこで、毎年価値が減少する分を費用(支出)として計上し、当該有形固定資産の取得原価を減少させる処理を行います。



(例：300万円・耐用年数3年の資産なら年間100万円が費用)

収益的収支と資本的収支

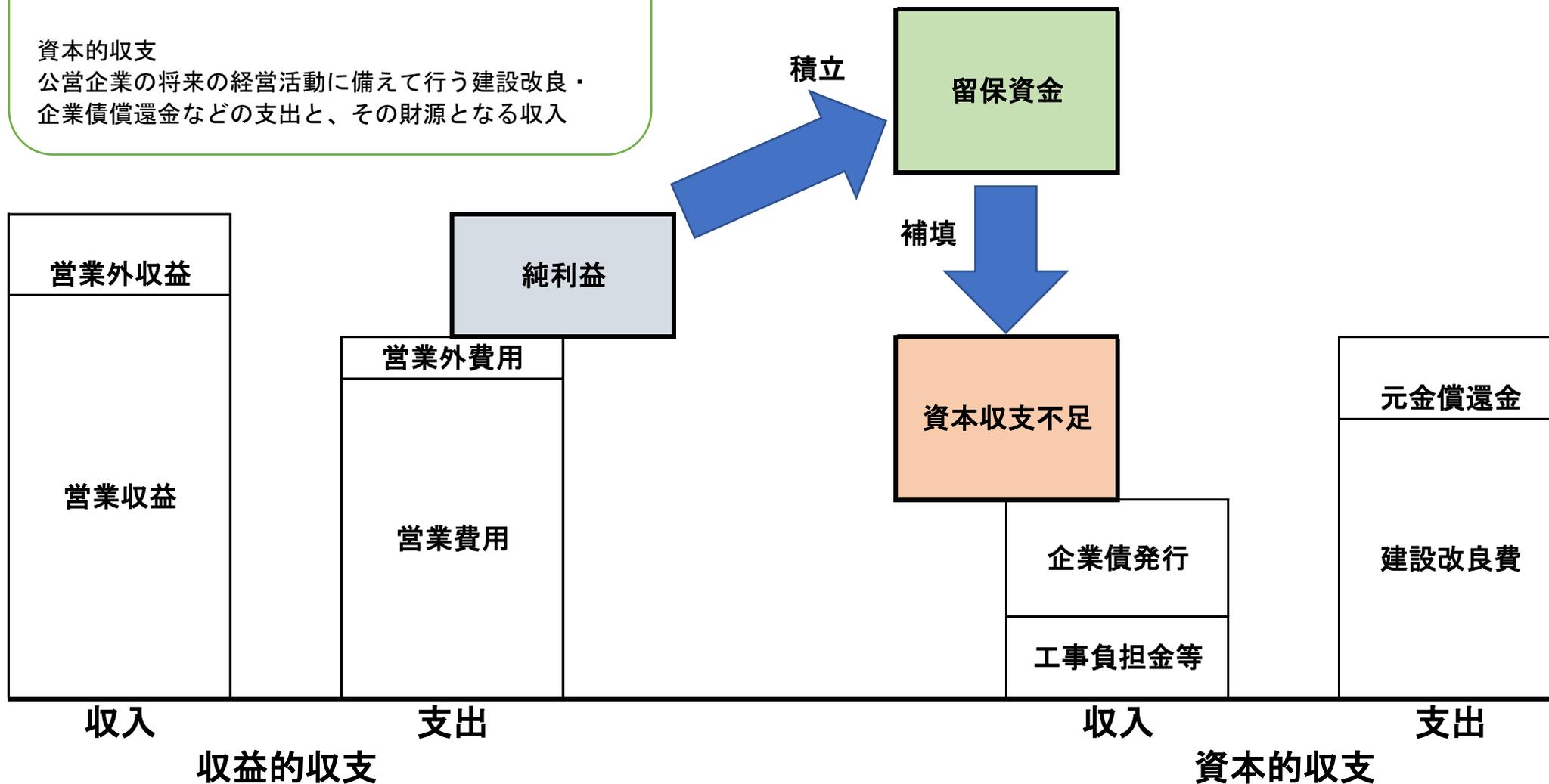
収益的収支

当年度の経営活動に伴い発生する収入・支出

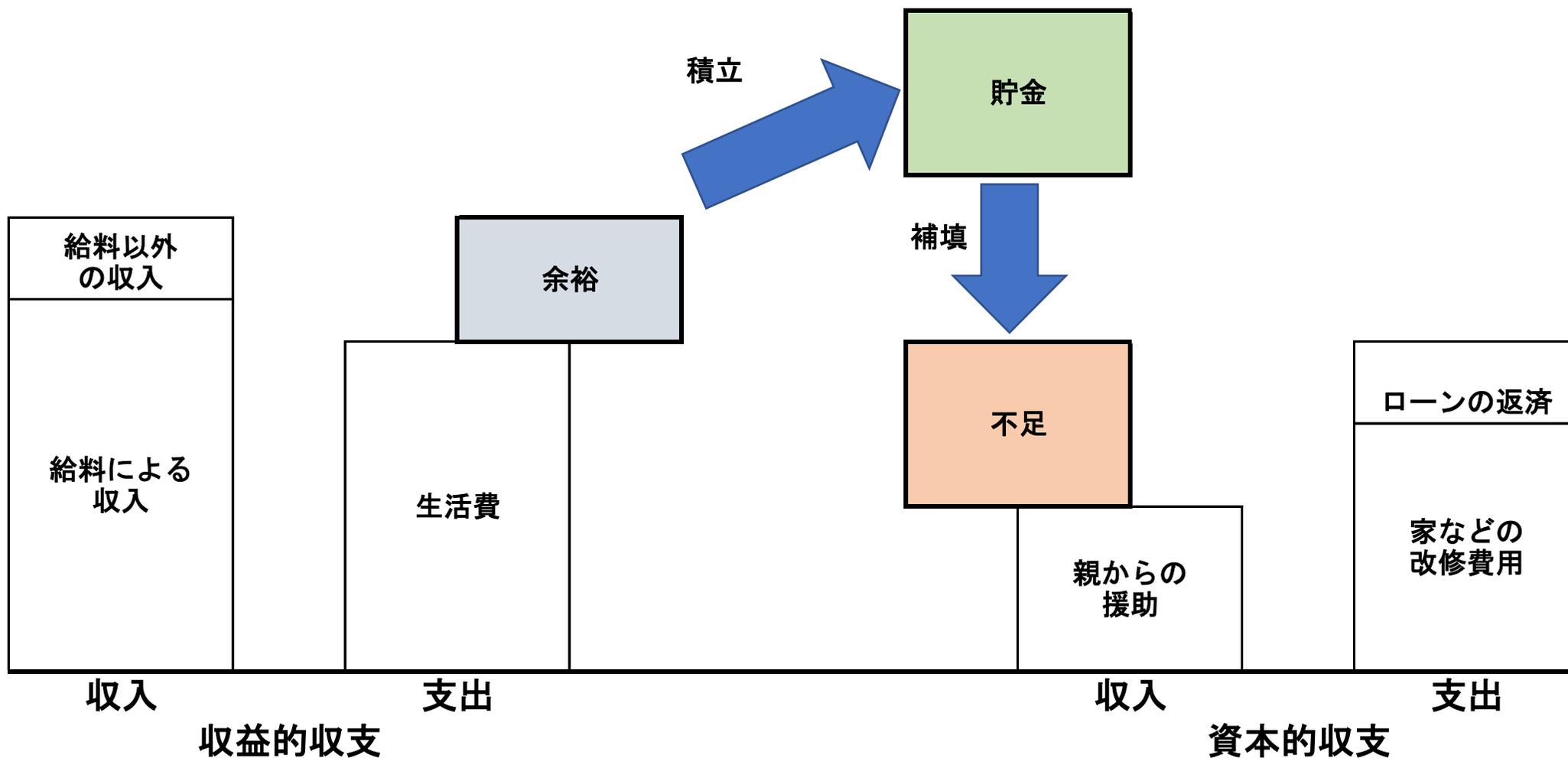
(例 料金収入・光熱水費・減価償却費)

資本的収支

公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良・
企業債償還金などの支出と、その財源となる収入



たとえば一般家庭に置き換えると



※厳密には異なります。イメージです。